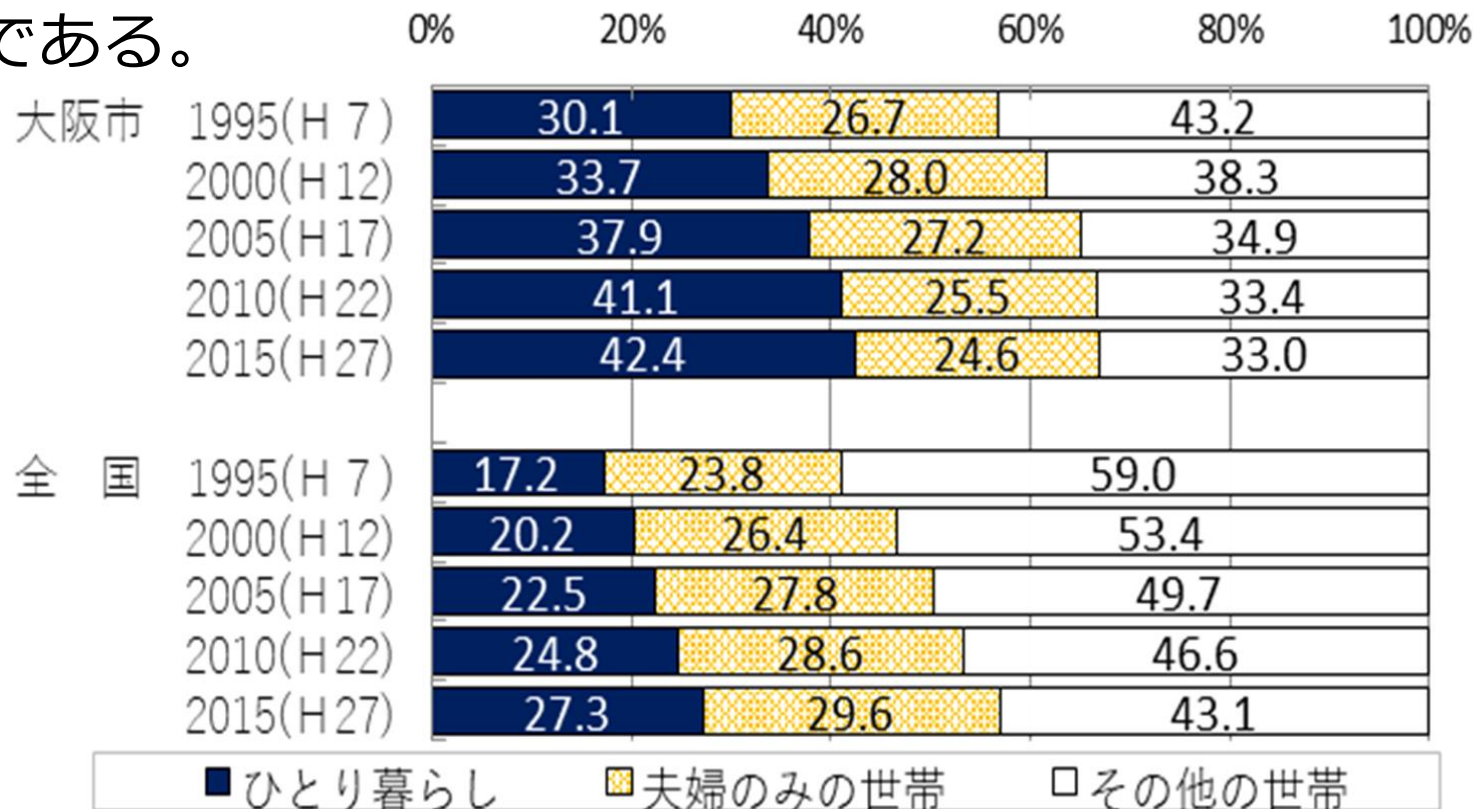


1 認知症に関する大阪市の状況②高齢者世帯の状況

高齢者世帯に占める独居率は、政令指定都市の中で最も高く、平成27年度では、高齢者世帯の42.4%が独居、24.6%が高齢者夫婦世帯であり、認知症の早期発見・治療に加えて、在宅療養も困難な世帯が多い状況である。



2 専門医療機関の現状

大阪市は、認知症疾患医療センター（※）として、弘済院を含む6か所を指定し、専門的な認知症医療の提供を行っているが、市民の高齢化が進む中、市内における認知症専門医療機関の充実が望まれている。

（参考）大阪市と堺市が指定する認知症疾患医療センター

【大阪市指定】

病院名	病床数
ほくとクリニック病院	50
市立弘済院附属病院 (吹田市所在)	90
市大医学部附属病院	972
咲く花診療所	—
済生会野江病院	400
葛本医院	—

【堺市指定】

病院名	病床数
浅香山病院	1,039
阪南病院	690

※ 認知症疾患医療センターの機能

① 専門的医療機能

- ・ 認知症の鑑別診断と初期対応
- ・ 周辺症状と身体合併症の急性期対応
- ・ 専門医療相談

② 地域連携拠点機能

- ・ 認知症疾患医療連携協議会の設置・運営
- ・ 研修会の開催

3 弘済院における大阪市民への健康医療・福祉サービス提供の現状

弘済院は、施設の老朽化が著しく、また、大阪市外（吹田市）に所在することから、入院患者に占める大阪市民の割合は約20%にとどまっております。大阪市民の利用がしづらい状況がうかがえる。

入院患者 割合比較

平成29年度分（H29.4.1～30.3.31）

大阪市	20.50%
大阪市以外	79.50%
合計	100%

4 認知症に関する研究の必要性

今後の高齢化の進展を考慮すると、本市の認知症に係る医療・介護等の社会保障費の増嵩が見込まれていることから、認知症の原因究明や新たな治療方法の確立を目指す取組を推進していく必要性は高い。

5 認知症医療と介護の連携の必要性

現在のところ、認知症に対する根治的な治療法はなく、また、保険診療にて可能な診療範囲が限られていることから、専門的な認知症看護・介護・支援の果たす役割が大きく、医療と介護が連携し、切れ目のない治療・ケアを実施することが望まれる。

6 地域連携等の必要性

認知症の容態に応じて適時・適切に切れ目なく、専門的な医療・介護を提供し、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるように支援の強化が求められている。

(2) 事業効果の妥当性①

○専門医療機関の充実

新病院は、認知症疾患医療センターの機能を担い、専門的な認知症医療の提供を行うことで、市内における認知症専門医療を充実させることができる。

○大阪市民への健康医療・福祉サービスの向上

弘済院の認知症医療・介護機能を市内へ移転させることにより、大阪市民への健康医療・福祉サービスを向上させることができる。



(2) 事業効果の妥当性②

○認知症に関する研究の推進

先進的な認知症研究に取り組み、研究成果を「認知症をささえるまち大阪宣言」の実現に向けた本市の各施策に反映するとともに、大阪の健康寿命延伸や、今後見込まれる本市の医療・介護費等の社会保障費の増加抑制に貢献させていく。

認知症の人をささえるまち大阪宣言

現在、65歳以上高齢者の約7人に1人が認知症であると推計されており、2025（平成37）年には、その割合は約5人に1人に上昇すると見込まれています。

認知症はとても身近な病気であり、誰もが認知症の人をささえる側として、また、認知症の当事者として、認知症にかかわり、認知症と共に生きる時代になりました。

大阪市は、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現をめざし、あらゆる世代や立場の人が協力して、認知症の人にやさしいまちづくりに取り組むことを宣言します。

- 認知症に関する知識の理解を深め、早期に認知症に気づき、地域のつながりで認知症の人をささえるまち
- 認知症の人の思いやその人らしさを尊重し、認知症の人やその家族の視点に立って行動するまち
- 外出する、運動する、食事に気をつけるなど、認知症になりにくい生活習慣を実践するまち
- 認知症の状態に応じた質の高い医療・介護サービスが速やかに提供されるまち
- 認知症の人がいきいきと暮らし続けることができるまち

平成30年 2月13日

大阪市長

吉村 洋文

認知症施策の7つ柱

- 1 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- 2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供
- 3 若年性認知症施策の強化
- 4 認知症の人の介護者への支援
- 5 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- 6 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- 7 認知症の人やその家族の視点の重視

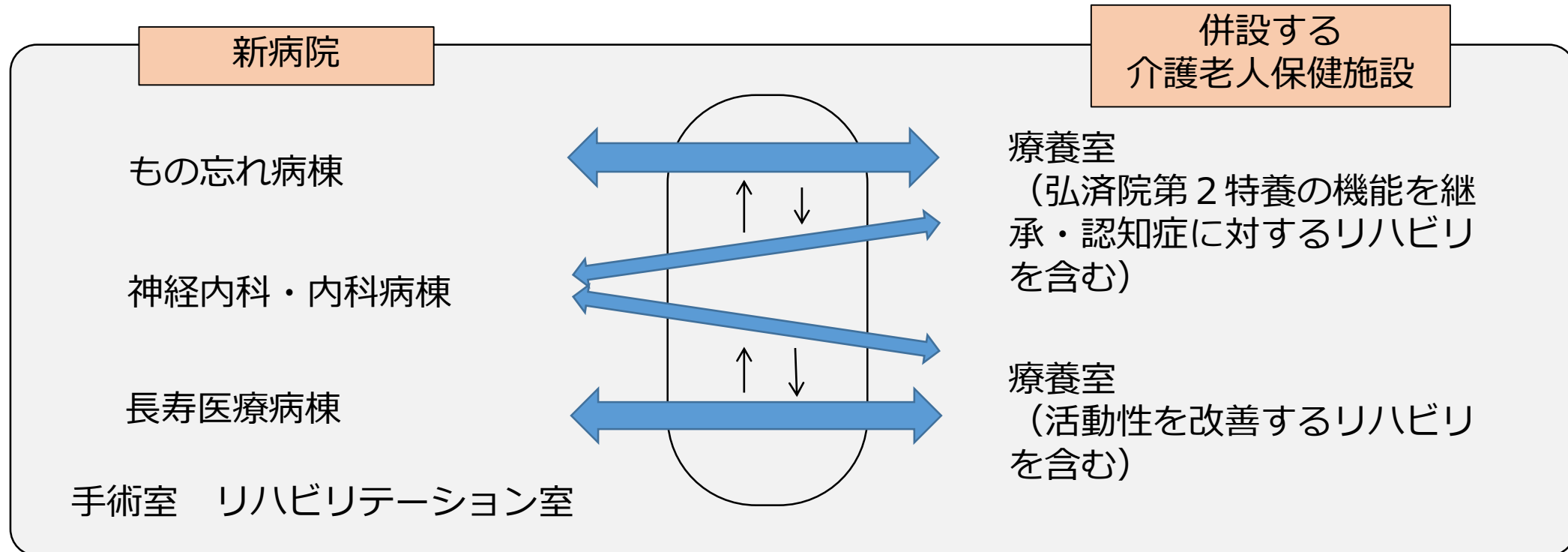
各種施策を展開

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現

(2) 事業効果の妥当性③

○認知症医療・介護機能の充実

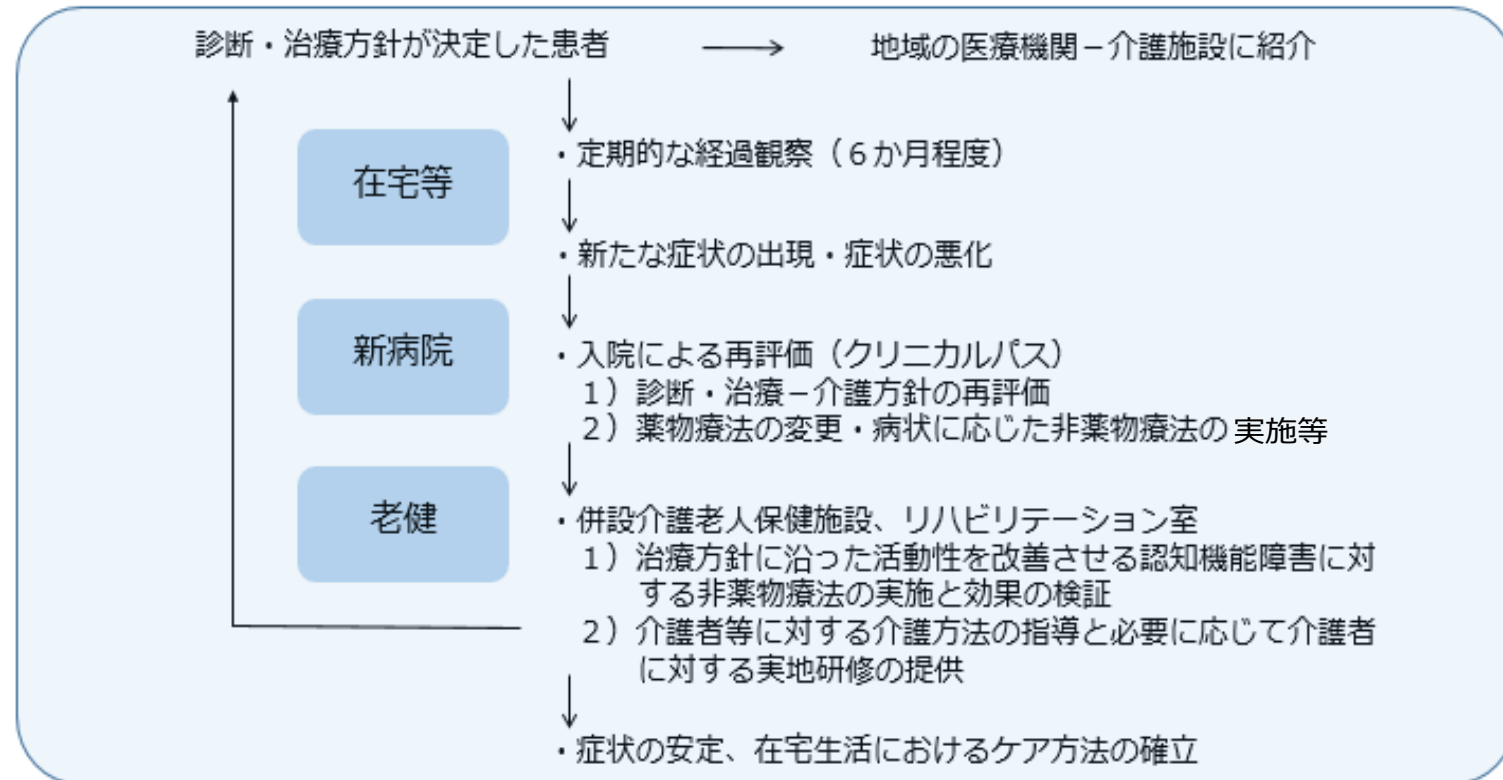
認知症に係る専門的な診断を行い、症状に合わせた治療と引き続いて行う認知症のリハビリテーションや活動性を改善するリハビリテーションを実施する病院に、専門的な認知症介護を行う介護老人保健施設を併設する。医療と介護の一体的な運営により、院内循環型システムを構築し、認知症の症状に合わせて医療と介護が切れ目のない治療・ケアを実施する。



(2) 事業効果の妥当性④

○地域連携等の推進

認知症医療の中核となる新病院と併設する介護老人保健施設が協働し、地域医療機関や福祉施設等との適切な役割分担の下に連携を強化することで、循環型の医療・介護システムの確立に寄与し、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるよう支援する。また、医療・看護・介護・福祉に携わる人材を育成し、地域の介護力向上を図る。



(3) 事業費等の妥当性①

【実施場所】

新病院等は、大阪市民病院機構より返還を予定している用地に整備するものであり、新規に土地を取得するものではない。（平成31年4月戦略会議で決定）

【施設規模】

- ・基本構想に基づき、120床の病院、100人定員の介護老人保健施設及び高齢者医療・介護に関する研究施設を整備する。（平成31年4月戦略会議で決定）
- ・病院・老健棟は約15,700㎡の規模であり、先進的で良質な認知症医療及びその合併症医療を提供する新病院と、新病院と医療・介護の連携を図り、切れ目のない治療・リハビリが効果的に行える介護老人保健施設を併設する。
- ・新病院は、3病棟・15診療科、放射線部・リハビリテーション部・手術部等の中央部門を備える。
- ・介護老人保健施設は、新病院の病棟に対応する療養室のほか、機能訓練室等を備える。
- ・研究棟は約3,200㎡の規模であり、4分野にわたる先進的な認知症研究及び人材育成等に資する施設として、複数の研究室や講堂等を備える。

(3) 事業費等の妥当性②

○新病院の病棟（病床数120床）

病棟名	病床数	備考
もの忘れ病棟	30床	B P S D（※）の顕著な人に対応
神経内科・内科病棟	45床	認知症高齢者に好発する内科系疾患、軽い脳血管障害を発症した人に対応
長寿医療病棟	45床	高齢者に好発する外科系疾患、看護度の高い内科系疾患に対応

※認知症の主な症状である記憶障害等の進展と関連しながら、身体的要因や環境要因等が関わって現れる、抑うつ・興奮・徘徊・妄想等の症状のこと。

○介護老人保健施設の療養室（定員100人）

	定員
もの忘れ病棟に対応する療養室	40人
神経内科・内科病棟及び長寿医療病棟に対応する療養室	60人

(3) 事業費等の妥当性③

棟	床面積
病院・老健棟 (鉄筋コンクリート造又は鉄骨造 5 階建)	約15,700m ²
研究棟 (鉄筋コンクリート造又は鉄骨造 3 階建)	約3,200m ²
合計 (延床面積)	約18,900m ²

※床面積の内訳については、今後の設計において変更が生じうる。

【施設規模の妥当性】 病院・老健棟内訳①

階数	部門	諸室名（例示）	規模概数	備考
1	外来部門	・受付 ・診察室（15診療科） ・聴力検査室 ・緊急診察室 ・処置室 ・内視鏡室など	1,900	・診察室は、概ね20㎡、かつ、15診療科目の診療に対応する規模を確保。 ・待合ホールは受付・会計ともに、概ね200㎡を確保。 ・耳鼻科、眼科、歯科等の診察室及び採血室は、概ね70㎡を確保。
	リハビリテーション部門	・作業訓練室 ・診察室 ・言語療法室 ・日常生活動作訓練室など	500	・新病院及び老健では、専門的なリハビリ（理学療法・作業療法・言語聴覚リハビリ等）を充実させることから、リハビリ諸室を確保。 ・概ね250㎡の作業訓練室を確保。
	放射線部門	・一般撮影室 ・MRI室 ・CT室 ・SPECT室 ・PET-MRI室など	600	・大型医療機器が使用される部門であり、設置スペースを確保。 ・概ね50㎡×6室のMRI室等を確保。 ・その他、読影室、各機械操作室等を確保。
	その他	・臨床検査部門、病理解剖室 ・医事患者部門 ・研修・情報センター ・倉庫、リネン室など	800	・概ね30㎡の剖検室、霊安室、臓器保管室等を確保。 ・概ね10㎡の相談室を複数室、概ね160㎡の医事・医療相談支援室を確保。 ・概ね60㎡の研修室等を確保。
	共通	・廊下・空調・昇降機など	700	・面積の概ね15%を想定。
小計			4,500	

※面積等は、今後の設計において変更が生じうる。

【施設規模の妥当性】 病院・老健棟内訳②

階数	部門	諸室名（例示）	規模概数	備考
2	手術部門、中央材料室	・手術室 ・更衣室 ・洗浄室 ・機材保管庫など	600	・概ね70㎡の手術室を複数室確保。 ・概ね100㎡の中央材料室を確保。
	薬剤部門	・調剤室 ・薬品倉庫 ・無菌調剤室など	250	・部門全体で、概ね250㎡を確保。
	栄養部門	・調理室 ・検収室 ・冷蔵庫 ・食器保管庫 ・カートプールなど	400	・部門全体で、概ね400㎡を確保
	事務・管理部門	・病院長室 ・副病院長室 ・看護部室 ・会議室 ・病院事務室など	700	・概ね100㎡の病院事務室を確保。 ・概ね15㎡の病院長室、副病院長室を確保。
	その他	・臨床検査部門、病理解剖室 ・健診センター ・医局など	1,000	・概ね200㎡の検体検査室、超音波室等を確保。 ・概ね150㎡の健診センターを確保。 ・概ね50㎡の医療情報管理部門（病歴管理室など）を確保。 ・概ね200㎡の医局（衣室・会議室等を含む。）を確保。
	老健管理部門	・老健事務室 ・相談室 ・医療情報管理部門 ・診察・薬剤室など	100	・部門全体で、概ね100㎡を確保。
	共通	・廊下・空調・昇降機など	550	・面積の概ね15%を想定。
小計			3,600	

※面積等は、今後の設計において変更が生じうる。

【施設規模の妥当性】 病院・老健棟内訳③

階数	部門	諸室名（例示）	規模概数	備考
3	長寿医療病棟（外科系病棟） ・病床数 45床	・病室 ・デイルーム（食堂） ・スタッフステーションなど	1,200	・概ね20㎡の個室9室、概ね40㎡の4床室9室を確保。 ・概ね120㎡のデイルームを確保。 ・概ね100㎡のスタッフステーションを確保。
	老健施設	・療養室 ・食堂・機能訓練室 ・スタッフステーションなど	1,500	・神経内科・内科病棟、長寿医療病棟に対応した療養室を整備する。 ・概ね20㎡の個室20室、概ね40㎡の4人室10室を確保。 ・食堂・機能訓練室は、概ね230㎡を確保。 ・概ね150㎡のスタッフステーションを確保。
	共通	・廊下・空調・昇降機など	500	・面積の概ね15%を想定。
小計			3,200	
4	神経内科・内科病棟（内科系病棟） ・病床数 45床	・病室 ・デイルーム（食堂） ・スタッフステーションなど	1,200	・概ね20㎡の個室9室、概ね40㎡の4床室9室を確保。 ・概ね120㎡のデイルームを確保。 ・概ね100㎡のスタッフステーションを確保。
	老健施設	・療養室 ・食堂・機能訓練室 ・スタッフステーションなど	1,300	・もの忘れ病棟に対応した療養室を整備する。 ・概ね20㎡の個室12室、概ね40㎡の4人室7室を確保。 ・概ね230㎡の食堂・機能訓練室を確保。 ・概ね150㎡のスタッフステーションを確保。
	共通	・廊下・空調・昇降機など	500	・面積の概ね15%を想定。
小計			3,000	
5	もの忘れ病棟 ・病床数 30床	・病室 ・デイルーム（食堂） ・スタッフステーションなど	1,200	・個室22室、4床室2室を確保する。 ・個室は概ね20㎡、4床室は概ね40㎡を想定。 ・デイルームは、概ね120㎡を想定。 ・スタッフステーションは、概ね100㎡を想定。
	共通	・廊下・空調・昇降機など	200	・面積の概ね15%を想定。
小計			1,400	
合計			15,700	

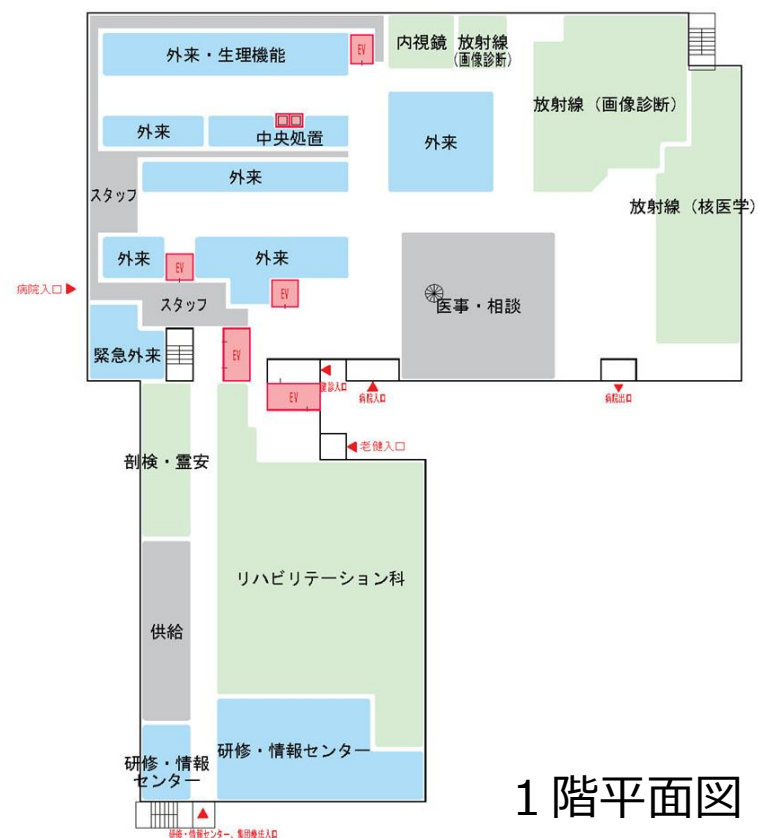
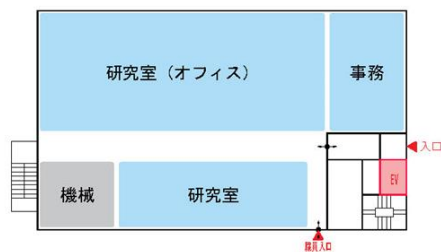
※面積等は、今後の設計において変更が生じうる。

【施設規模の妥当性】 研究棟内訳

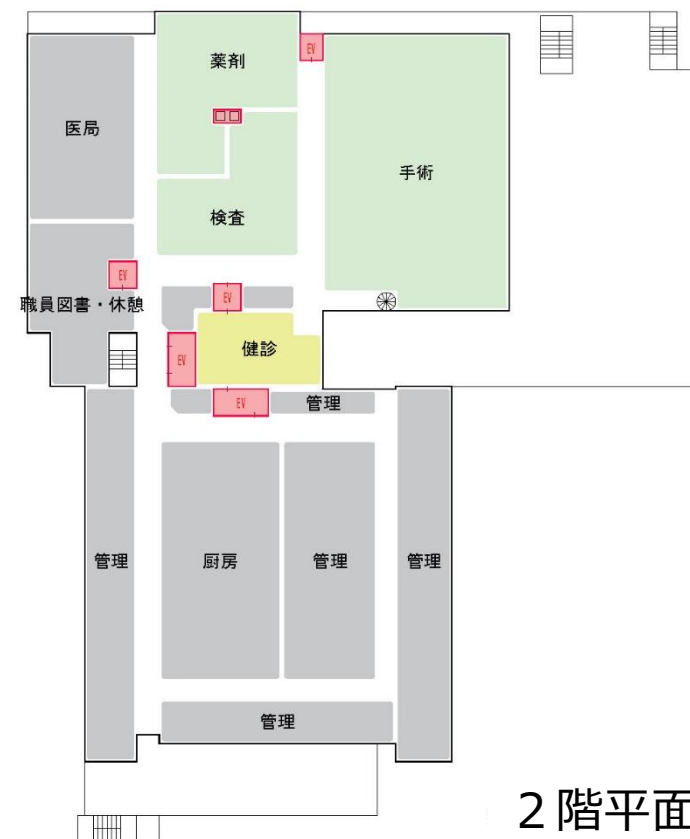
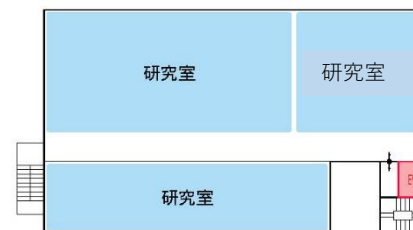
	諸室名（例示）	規模概数	備考
1	・ 研究室 ・ 教授室 ・ 事務室 ・ 更衣室など	900	・ 概ね20㎡の教授室を複数室確保。 ・ 概ね300㎡の職員共同のオフィススペースを確保。
2	・ 研究室など	900	・ 概ね40～70㎡の大小の研究室を複数確保。 ・ 概ね300㎡の共同実験機器施設の設置スペースを確保。
3	・ 講堂 ・ 文献保管室・図書室 ・ 研究室など	900	・ 概ね30㎡の研究室や文献保管庫・図書室を確保。 ・ 講演会等の開催のための講堂（300人程度を収容）は、概ね450㎡の規模。
共通	・ 廊下・空調・昇降機など	500	・ 面積の概ね15%を想定。
合計		3,200	

※面積等は、今後の設計において変更が生じうる。

(参考) 平面図 (イメージ) ①

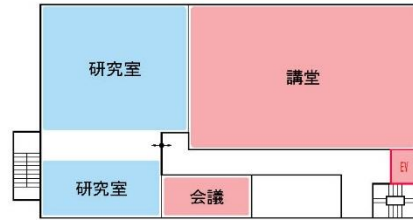


1 階平面図

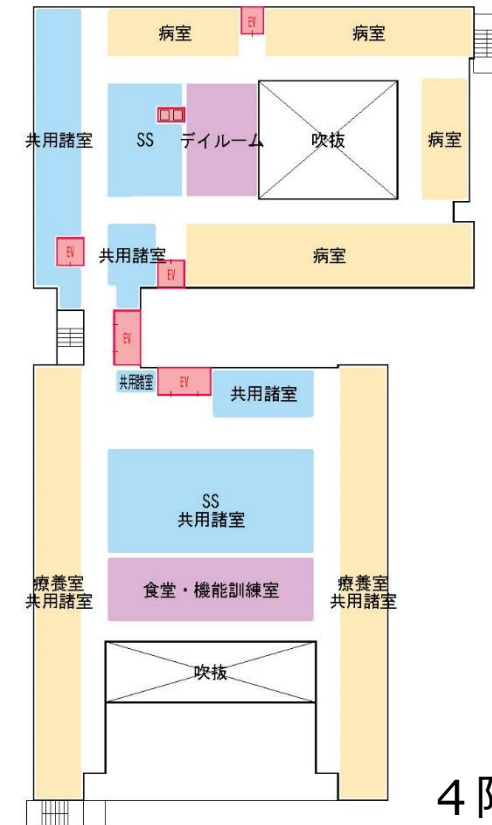


2 階平面図

(参考) 平面図 (イメージ) ②



3 階平面図



4 階平面図